連絡帳

税・年金

市税・国民健康保険料の 休日納付相談窓口

- **ほ** 4月16日(土)・17日(日) 午前9時~午後4時
- 場●市税…納税課(田無庁舎4階)
- ●国民健康保険料…保険年金課(田無 庁舎2階)
- 図市税・国民健康保険料の納付および相談、納付書の再発行など
- ▶納税課Ⅲ ☎ 042-460-9832
- ▶保険年金課 1042-460-9824

固定資産税の土地家屋価格等 縦覧帳簿の縦覧

固定資産税(土地・家屋)の納税者が 所有する土地や家屋の評価が適正かど うかについて、他の土地や家屋の価格 との比較を通じて確認できます。

- **時**4月1日逾~5月31日火火
- 場資産税課(田無庁舎4階)
- 図①市内の土地・家屋の固定資産税納税者 ②①の同居の親族の方 ③① の委任を受けた方 ④納税管理人
- 間納税者本人であることを確認できる もの(マイナンバーカード・運転免許 証など顔写真入りの身分証明書または 4月28日(休)に発送予定の納税通知書) ※代理人の場合は委任状も必要
- ※固定資産課税台帳に登録された価格に不服がある場合には、納税通知書の交付を受けた日の翌日から起算して3カ月以内に固定資産評価審査委員会に対して審査の申し出をすることができます。
- ※「固定資産名寄帳」については、閲覧 方法は従来どおりですが、縦覧期間中 は手数料が無料となります。
- ※納税通知書の課税明細書には、課税されている土地・家屋を示しており、 課税していない物件(道路など)は表示していません。
- ▶資産税課 642-460-9829.9830

国民年金の学生納付特例制度

日本国内に住所がある20歳以上60歳未満の方は、国民年金に加入し保険料を納める必要がありますが、学生の方で納付が困難な場合は、学生納付特例(以下「学特」という)を申請し、承認を受けると学生期間中の保険料の納付が猶予されます。申請は毎年度必要です。

□令和3年度分が承認済みで在学中の方

年金事務所から申請書(はがき)が4~6月に順次郵送されます。必要事項をご記入のうえ返送してください。 ※在学する学校の変更や大学院などへ進学された方は新たに申請が必要

- 図学生で申請年度前年の本人所得が 一定額以下または失業などの理由があ る方
- ※一部対象とならない学校あり
- ※学特承認期間は年金受給資格期間に 含まれますが、年金受給額計算には含 まれません。

□過去期間の申請をする方

過去期間については、2年1カ月前 まで申請ができます。

- 場保険年金課(田無庁舎2階)、市民課(防災・保谷保健福祉総合センター1階) ・日本金手帳またはマイナンバーカード ● 在学期間が分かる学生証(コピー可、裏面に記載がある場合は
- 間武蔵野年金事務所
- ■0422-56-1411 (ナビダイヤル) ▶保険年金課**■**■042-460-9825

両面) または在学証明書(原本) ●離

1

職票など

福祉

介護職員初任者研修課程の 受講料を助成

介護人材を育成し、質の高い介護 保険サービスの提供を図るため、介 護職員初任者研修課程の受講料を助 成します。

- □助成対象 研修に係る受講料・教材費^αε(上限額5万円^まで)
- □対象者 4月1日 (金)以後に開講された介護職員初任者研修課程を修了し、その証明書の交付を受けた方で、次のいずれかに該当する方
- ●在住で、市内の介護サービス事業所 に介護職員として就業する見込みが ある
- ●市内の介護サービス事業所に従事している介護職員
- 申令和5年3月31日 金までに「介護職員初任者研修受講料助成金交付申請書」に必要な書類を添えて〒188-8666市役所高齢者支援課へ郵送または持参(田無第二庁舎1階)
- ※詳細は市田または下記へ

高齢者福祉手技治療割引券の交付

▶高齢者支援課 ■ 642-420-2810

65歳以上の方が高齢者指定治療院でマッサージ治療などを受ける際に、治療料金の一部を助成する割引券を交付します。

- □**枚数** 割引券12枚を限度に交付(申請月に基づき月1枚換算)
- □助成内容 1回の保険外治療料金から1,000円を割引
- 中本人確認ができるもの(マイナン バーカード・運転免許証・保険証なと) を持参のうえ、高齢者支援課(田無第 二庁舎1階、防災・保谷保健福祉総合 センター1階)または出張所の窓口へ ※来庁での申請が困難な場合は下記へ お問い合わせください。

・・市内の治療院の方

新たに高齢者指定治療院の指定を希望する場合は、下記へお問い合わせください。

▶高齢者支援課 ■ 1042-420-2810

在宅で介護している方家族介護慰労金を支給

在宅の高齢者を介護している家族の 経済的負担を減らし、在宅生活の継続 と向上のために、家族介護慰労金を支 給します。

- 図在住で、別表の要件を全て満たしている65歳以上の高齢者を1年間以上介護し、過去1年間以上市民税非課税世帯に属する方
- ※申請日の属する月の前月末日を基準 とします。
- ※前年度支給を受けている方は、申請から1年以上経過していなければ申請できません。

□要件

要介護4または5と認定されている高齢者

過去 1 年間 以上

市民税非課税世帯に属する高齢者 介護保険サービスを利用してい ない高齢者(通算7日間までの短 期入所生活介護(ショートステイ) または短期入所療養介護(医療型 ショートステイ)利用を除く)

過去 1年間 1年間

介護保険施設以外の病院などに 延べ90日以上の長期入院をして いない高齢者

- □**慰労金支給額** 年額10万円
- ▶高齢者支援課 1042-420-2810

入院期間中の紙おむつ代 助成申請の対象者要件が一部変更

- 対次の全てに該当する方
- 入院期間(紙おむつ代請求期間)中に 西東京市に住民登録をしている
- ●40歳以上で入院時に介護保険認定 において要介護1以上の認定を受け ている
- ●医療保険適用の病院に入院し、現に 紙おむつを使用し、その代金を病院 などに支払っている(令和4年度から、紙おむつの持ち込みを認めてい る病院も対象となります)
- 入院期間中に生活保護を受給してい ない
- ●同一月内で、西東京市認知症及びねたきり高齢者等紙おむつ給付サービスを受けていない
- ▶高齢者支援課 1042-420-2810

庁舎窓口に手話通訳者を配置

各課でのお手続・ご相談などで必要 な場合にご利用ください。

□日時・場所(障害福祉課窓口)

防災・保谷保健 福祉総合センター	田無庁舎
毎月第1(x) 午後1時~5時	毎月第3億 午後1時~5時
4月6日(水)	4月15日金
5月11日(水)	5月20日金

※配置日以外にも手話通訳者を派遣します。詳細はお問い合わせください。

- ▶障害福祉課Ⅲ
- **a** 042-420-2804
- M042-466-9666



△ くらし

市民交流施設の所管課の変更

令和4年度から、市民交流施設(地区会館・市民集会所・コミュニティセンター)の担当が、文化振興課から協働コミュニティ課に替わります。公共施設予約管理システムの登録手続や施設の利用に関するお問い合わせ先は協働コミュニティ課になりますのでご注意ください。

▶協働コミュニティ課 ■ 642-420-2821

わが家の耐震診断をしよう

- 後0時30分/田無庁舎5階
- 対市内の地上2階建て以下の木造一戸建てで、自ら所有し居住している住宅 ※原則、昭和56年5月31日以前の建築
- 28人(申込順) ※1人35分程度
- ■4月13日例までに、電話で下記へ
- □相談員 住みよい町をつくる会 ▶住宅課 (日面 042-438-4052)

建築物などの解体・リフォーム時 アスベスト事前調査結果の 報告が義務化されました

一定規模以上の建築物などの解体・リフォームの際、石綿含有建材の有無にかかわらず発注者から請け負った業者または自主施工者が、アスベスト事前調査結果を都道府県などへ 国際に関報告することが、4月1日金 おら義務付けられました。

報告は原則として石綿事前調査結果 報告システム(QRコード)からお願い します。

カーポートや物置の設置工事は 確認申請が必要です

カーポートや物置(建築物と見なさない小規模なものを除く)などは、建築基準法では建築物として定義されているため、建築基準法に基づいて計画や工事をする必要があります。

手続違反(建築基準法第6条)や建ペい率(建築基準法第53条)を超過した場合は、「違反建築物」となり撤去が必要な場合もあります。簡易的な工事でも、自己判断せずに下記までご相談ください。

▶建築指導課保 6042-438-4019

飼い主のいない猫の不妊・去勢 手術費の助成制度

市では飼い主のいない猫の数を減ら すため、不妊・去勢手術費の一部を助 成しています。

対在住・在勤・在学の個人または団体 の方で、市内に生息する飼い主のいな い猫に不妊・去勢手術を受けさせる方

□助成限度額

●不妊手術(メス)…1万円^まで

かの処置などは申請者の負担

- ●去勢手術(オス)…5,000円^{まで}※不妊・去勢手術費のみ対象。そのほ
- □助成の条件 ●市が指定する動物病院で手術を受けさせ、不妊・去勢済であることが外見から判断できる措置(耳カット)に同意できる ●猫の餌場の清掃、ふん尿処理など地域住民への
- 理解を得られるよう努める 申 4月1日 金から受付(申込順)

※予算に限りがありますので事前に電話でご相談ください。

※申込方法など詳細は市Ⅲでご確認ください。

▶環境保全課 ■ 042-438-4042

飼い犬には狂犬病予防注射が必要です

生後91日以上の飼い犬は、年1回 の狂犬病予防注射を受けることが義務 付けられています。

今年度は毎年4月に市で実施している集合注射を行わないため、指定の市内動物病院で注射を受け、交付される狂犬病予防注射済票を、鑑札と同じように首輪に付けてください。

注射済票の交付を受けられる動物病院は市かまたは3月末ごろに市から